

アメンボさしい強!

～水・りく・空を

せいするもの～

さとうえいと



maruman®

S120 MADE IN JAPAN

ZUAN MP5-S 125.5g/m²

size: 352mm×291mm



4979093000371

もくじ

1. はじめに …… (2)
2. 調べること …… (3)
3. 調べかた …… (4)
4. 調べたけっか
 - (1) 名前の由来やしるい、生そく地について… (5)
 - (2) 体や足について …… (7)
 - (3) 生活について …… (8)
 - (4) 子どもについて …… (10)
 - (5) てきについて …… (11)
 - (6) どんな水にもうけるのかについて …… (12)
5. 感想 …… (17)
6. さん考にしたもの …… (19)

1. はじめに

「昆虫世界のサバイバル」という本を読んで、アメンボは足に油がついているから水にうくことができると、はじめて知りました。水に落ちた虫をなんでも食べることも知って、びっくりしました。

川あそびのときに、アメンボをたくさん見たり、つかまえたりするけど、知らないことがたくさんあるなと思いました。もっとアメンボのことを知りたいと思って、調べることにしました。



2. 調べること

まず、アメンボについて、何が知りたいか考えました。

(1) 名前の由来やしゅるい、生そく地について

(2) 体や足について

(3) 生活について

(4) 子どもについて

(5) てきについて

(6) どんな水にもうけるのかについて

3. 調べかた

次に、知りたいことを、どうやって調べるか考えました。

- ・本を読んで調べる
- ・インターネットで調べる
- ・アメンボをつかまえてかんさつする
- ・実けんする



4. 調べたけっか

(1) 名前の由来やしゅるい、生そく±地について

① 名前の由来

あめのようなあまいにおいがして、
ぼうのように細長いことから、「アメンボウ」
といわれるようになった。

② しゅるい

・世界でやく1000しゅるい、日本に
は、やく20しゅるいのアメンボがいる。

日本にいるおもなアメンボ

名前	すんでいる場所	とくちゅう
アメンボ	全国池やぬま	ふつうのアメンボ
オオアメンボ	本州より南池やぬま	日本さいたいのアメンボ
ヒメアメンボ	全国池やぬま	小さいアメンボ
コセアカアメンボ	関東より南山の池	せ中が赤い
シマアメンボ	全国・川	羽がない
ウミアメンボ	関東より南海	一生海でくらす

③ 世界のアメンボ

- ・世界中どこにでもすんでいる。
- ・世界さい大のアメンボは、あしの長さが20cm以上ある。

④ 生そく地

・池や川や海に住んでいる。

ほとんど"のしゅるい"が池や川に住んでいるけど、やく65しゅるいは、海に住んでいる。

- ・日本全国、世界中に住んでいて、あついで所にもさむい所にもいるようだ。

(2) 体や足について

体や足のしくみについて、本で調べた後、
アメンボをかんさつしました。



このけんびきょうを使って
かんさつしました。

(7)

ふくがん

トンボみたいに小さな目がたくさん集まっている。



口ふん

えものにさして、体えきをすう。(おりたたみ式)



においの出るあな

ここからあまいにおいを出す

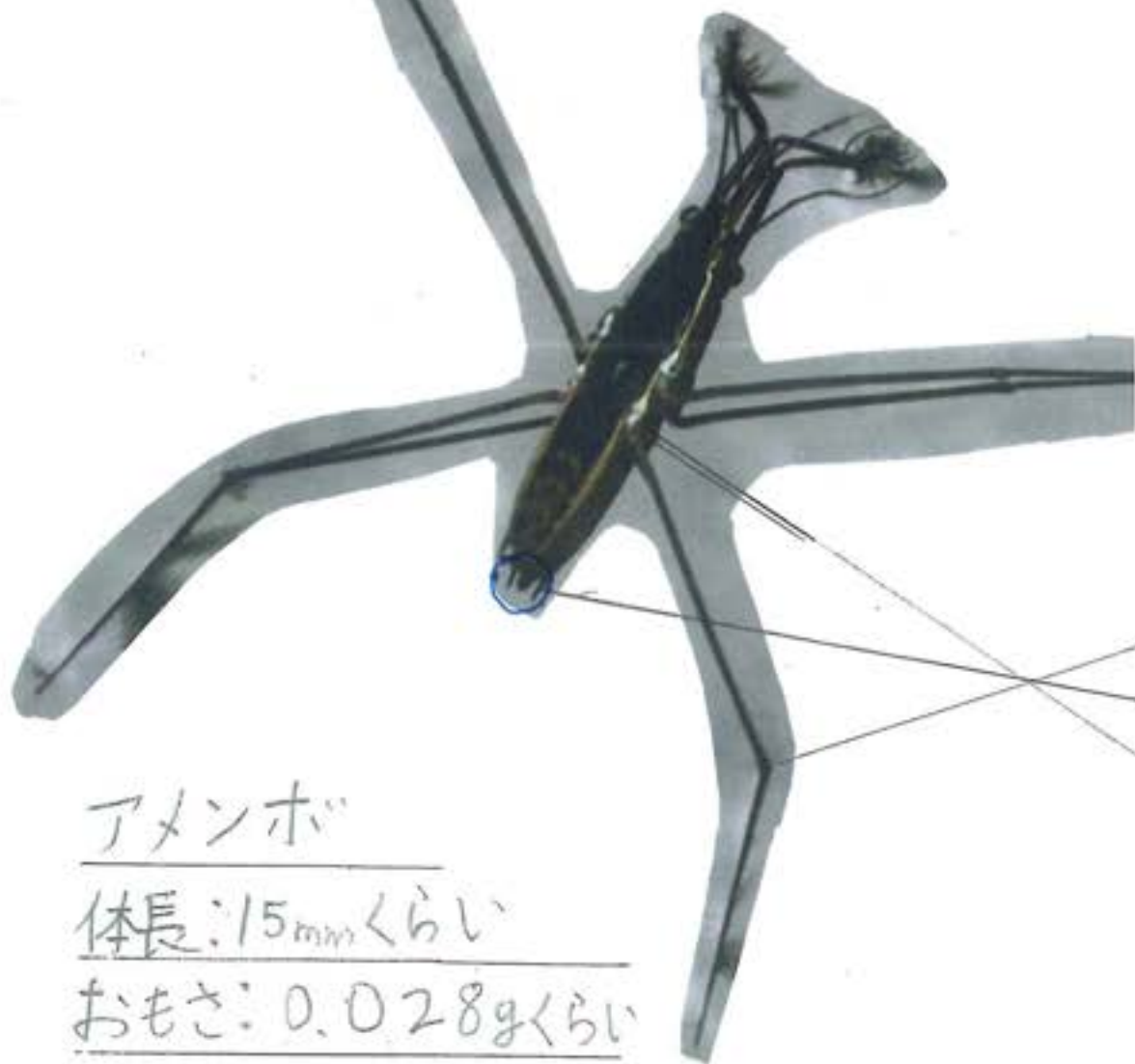
(おなかのしん)

気門

いきをするところ。



(かおのしん)



アメンボ

体長: 15mm くらい

おもさ: 0.028g くらい

ヤブかくアメンボくアゲハチョウく1円玉くオニヤンマ



(かおのしん)

しよっ角

前足

えものをつかまえるのに使う。

中足

前にすすむのに使う。

後ろ足

すすむ方向をかえるのに使う。

とげ

オスとメスをとげの形で見分けることができる。

はね

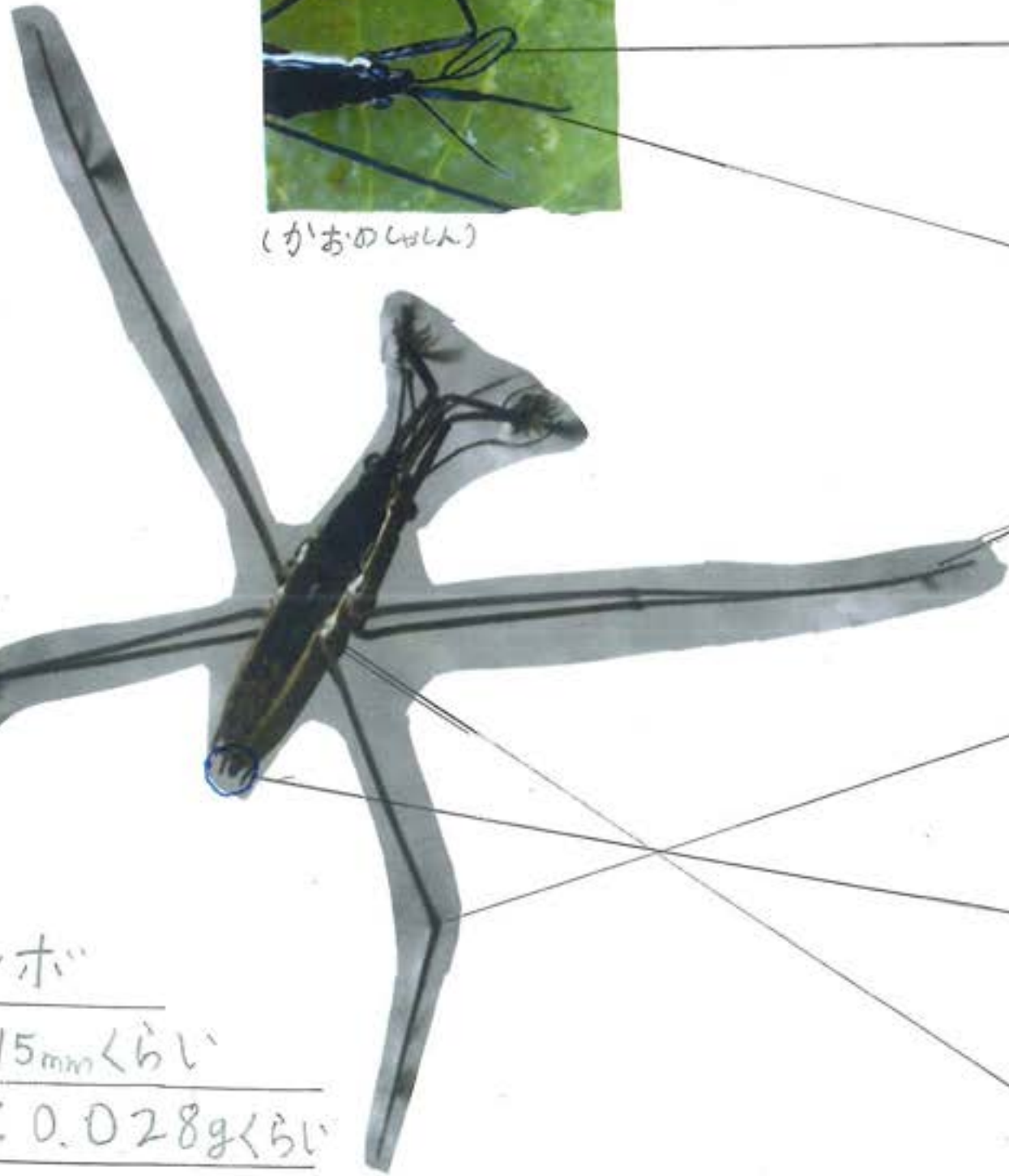
はねでとべる。



足にはたくさんのもが
はえていた。

・毛に油がついて、水をはじく
から、水にうくことができる。

・足のもで なみが来るのを
感じることができて、えもの
いちを知ることができる。



アメンボ

長: 15mm くらい

重さ: 0.028g くらい

アメンボ < アゲハチョウ < 円玉 < オニヤンマ
(0.028g) (0.348g) (1g) (1.456g)

(3) 生活について

① 住んでいる場所

- ・池や川や海にすんでいる。
- ・冬は落ちばの下や石の下で冬をこす。
- ・春になると氷面に出てくる。
- ・こぶこともできて、いどうする。

② 食べ物

- ・水に落ちた虫をなんでも食べる肉食。
- ・食べ方は、バリバリ食べるのではなく、口ふん
を使って体えきをすう。

☆ 本当に虫を食べるかかんさつしてみました。

ありとバッタと青虫をあげると食べました。



青虫をあけたとき、青虫が水にしずんでしまっ
て、アメンボは気づきませんでした。青虫を葉っぱの上
におきなおすと、アメンボがすぐによってきて、青虫を
つかまえました。



アメンボがバットの体えきをすっていくと、バット
の体がとうめいになっていきました。体えきを
すわれおあったバットをぼうでつついてみると
スカスカでした。



(6) どんな水にもうけるのかについて

アメンボは、足に油がついているからうく
ことができると知ったけど、それしか知らなかったの
で、まずはどうやって水にういているか調べました。



足の先1cmぐらいがスキー
いたのように水に水平にの
てる。

・足に毛が生えていて、毛に
油がついているから水にうく。

次に、海にもアメンボが住んでいることを
はじめて知ったので、大なみの上でもうける
のか実験してみました。

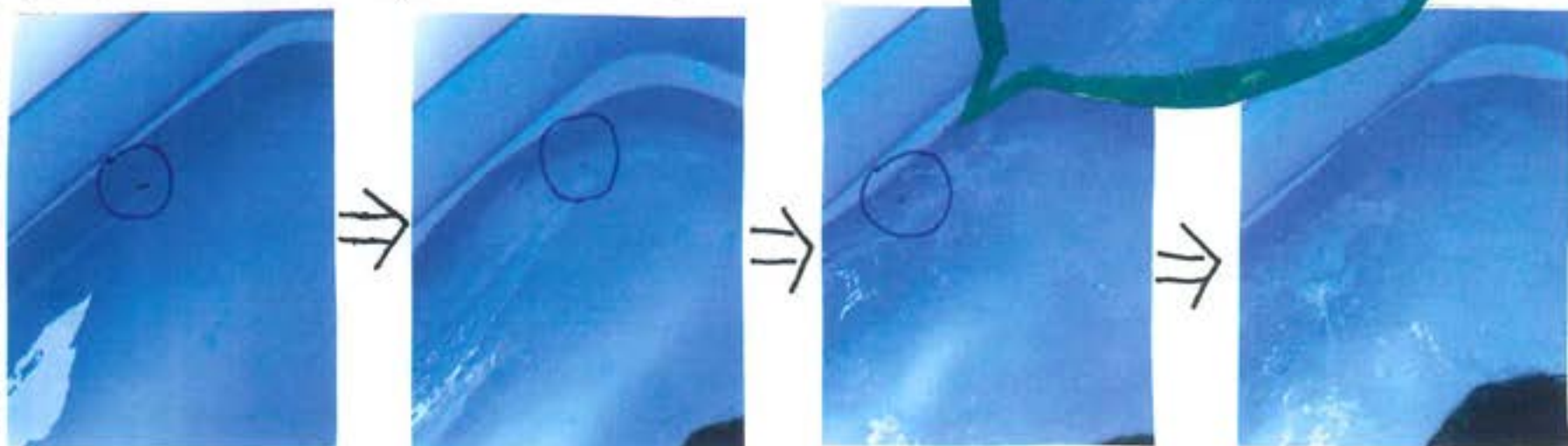
実験方法

家のプールにアメンボをいれて、大きななみを
たててみる。

よそ

アメンボはあわてるけどういているだけ。

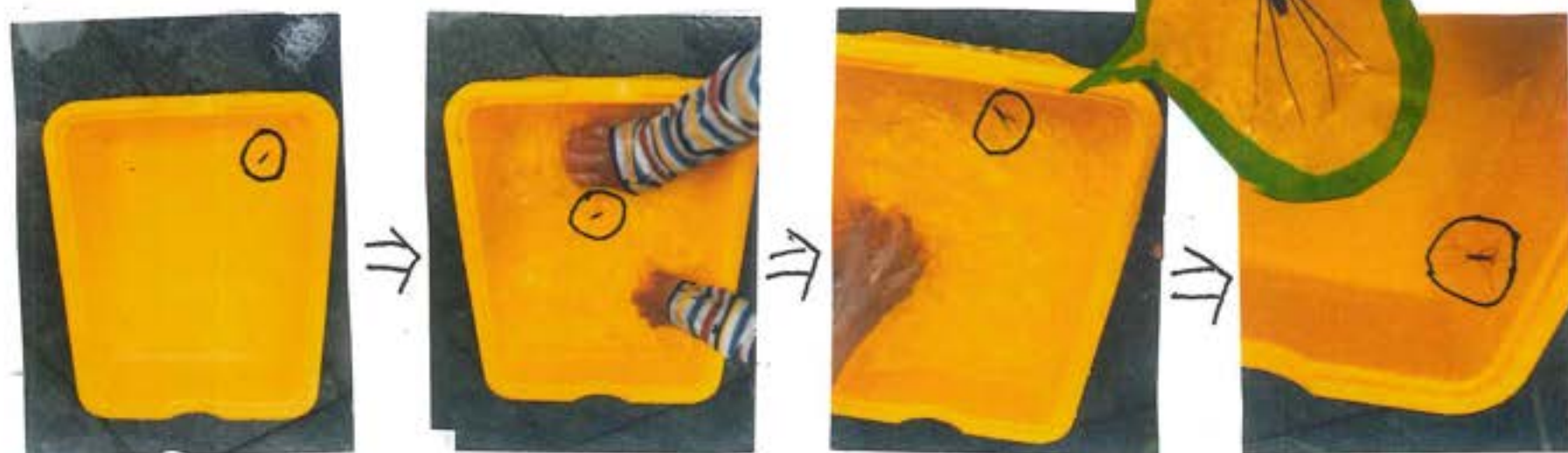
けかと分かったこと



プールにういている。 小さいなみでもういて(13) 大きななみでもういている。 きえた!!!

アメンボは、なみかきでもうまくバランスをとって
 水にういていた。でも大きななみの後、とつぜんきれた。
 フォールの中も外もさがしたけど、見つからなかった。たぶん、とん
 で行ったんだと思う。

フォールが大きくて見うしなだったので、小さなバットでも
 やってみた。



バットにうかんでいる。様子がおかしい。

おぼれた!

体の $\frac{1}{4}$ が水につかっている。

こんどは、おぼれた。
 葉やくきをもっていくと、アメン
 ボが上ってきた。足と足を



こすりあわせて、足に油をぬっていた。
 その後、もうひとつ水に入れると



またつくことができた。



アメンボは、大きななみがきても、水にうく

ことができるけど、おぼれることもあると分かった。

アメンボは、よごれた水にはうけないと知ったから、

色いろな水をじゅんびして、うけるかどうかを実けんしてみました。

実けん方ほう

海水、さとう水、せんざい水、おゆをじゅんびして、

アメンボをうかせてみる。

よそう

せんざい水だけおぼれて、ほかのものには

うけるだろう。

けつかと分かったこと

・海水…ちゃんとういていた。

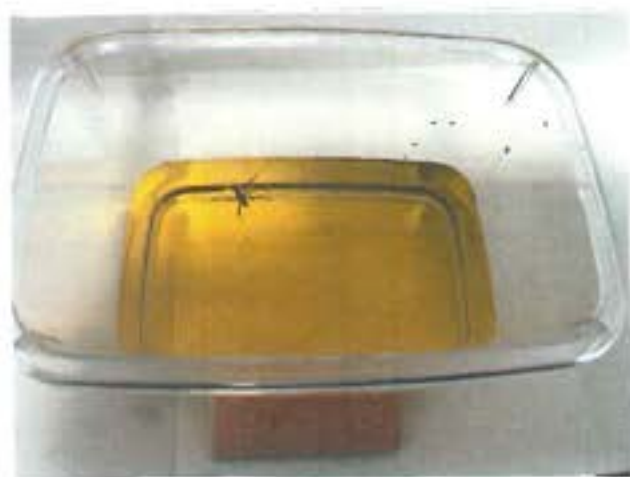
・さとう水…ちゃんとういていた。

・せんざい水…氷の上においたしゅんかん、すぐにしずんでいった。上にあがろうともがっていたけど、しずんだままだった。

・おゆ…あつくてジャンプをしていた。動かなくなっ、ういていた。



海水



さとう水



せんざい水



おゆ

5. 感想

本を読むまで、アメンボのことは考えたことがありませんでした。アメンボの本を読んだり、アメンボをかんさつしていろいろなことを知れてよかったです。

・一番おどろいたのは、アメンボがとべるということだ。水にうけてりくも歩いて、空もとべる。

さい強だと思った。とぶところは見れてないのでいつか見てみたい。

・本当に虫を食べるところを見れてよかったです。

バッタを一しゅんでつかまえた時はびっくりした。

バッタの体がスカスカになったのを見れてうれしかった。

・アメンボの赤ちゃんもはじめて見た。小さくて、つかまえるのが大へんだった。だっぴして大きくなるのをかんさつしたかったけど、大人のアメンボに食べ

られてスカスカになっていた。同じ水そうにいったのと、

食べものがたりなかったからだと思う。ざんねんだった。

次は、たまごからそだててみたい。

・アメンボは大きななみがきてもういていたし、海水や

さとう水にもういていた。だけど、せんざい水だと

ういていられなかったのはびっくりした。川や池を

よごすとアメンボも生きられなくなると思う。

気をつけたい。

・アメンボを川にかえすとき本にのって

いたアメンボつりをしてみた。糸にえさ

をくくりつけて川にたらしてアメンボを

つるといって遊びだ。むずかしかったけど楽しかった。



これまで、川遊びの時は、魚やかニやエビばかり気になっ

ていたけど、これからは、アメンボも気になりそうです。

楽しい調べ学習とかんさつ実けんでした。(118)

6. さん考にしたもの

・「昆虫世界のサバイバル図」

(ホンジェ Chol 作、朝日新聞出版)

・「ぬまがさわりのふしぎな昆虫大けんきゅう」

(ぬまがさわり作、RADOKAWA)

・「氷べの虫のかいかた」(海野和男・筒井学・

高山清明作、偕成社)

・「昆虫の体重そく定」(吉谷昭のり作、福音館書店)

・「アメンボかんさつじてん」(中谷けん一作、偕成社)

・「アメンボのふしぎ」(いぬいみのる作、トンボ出版)

・NHK for School

(<http://nhk.or.jp/school>)